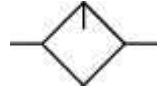


取扱説明書



ルブリケータ

型番号：BN-2301B-8A、10A、15A

安全にお使い頂くために、ご使用前に必ずお読みください。

安全に使うための表示

次の表示や図記号の意味をよくご理解の上、ご使用ください。

表示 表示の意味



危険

「取扱を誤った場合に人が死亡する、または重傷を負う可能性があること」を示します。



注意

「取扱を誤った場合に危険な状況が起こり、人が障害を負う可能性、または物的障害が発生する可能性があること」を示します。

図記号 図記号の意味



「特定の条件において破裂の可能性があります、注意を要すること」を示します。

安全上の注意事項



- ・使用圧力は、1.0 MPa 以下で使用してください。
- ・使用温度は、5～60℃の範囲内で使用してください。
- ・取付場所は、直射日光や有機溶剤の雰囲気避けてください。
- ・分解点検は、機器と配管内の圧力を抜いてから行ってください。
- ・潤滑油は、タービン油1種ISO-VG32を使用してください。

1. 構造と作動

ルブリケータの空気圧通路はベンチュリー管となっており、ケース内の油面にかかる圧力と潤滑油が滴下するノズル付近の圧力で差圧が生じます。差圧により潤滑油はサイフォンチューブを押し上げられ、ニードルバルブで滴下量が調整され、空気と共に空気圧機器に送られます。

潤滑油の補給は、空気圧ラインを止めずに行えます。

2. 使用・取付



使用時の注意



- ・使用圧力は、1.0 MPa 以下で使用してください。
- ・使用温度は、5～60℃の範囲内で使用してください。
- ・取付場所は、直射日光や有機溶剤の雰囲気避けてください。
- ・ルブリケータの前にエアフィルタを設け、異物やドレンの混入を防止してください。

3. 仕様

呼び口径	8 A	10 A	15 A
配管接続口	R c 1 / 4	R c 3 / 8	R c 1 / 2
使用流体	空気		
使用圧力	1.0 MPa 以下		
耐圧力	1.5 MPa		
周囲温度	5～60℃		
使用油	タービン油1種 ISO-VG32		
貯油量	200 cm ³		
※流量	0.4m ³ /min(ANR)	1.3m ³ /min(ANR)	2.5m ³ /min(ANR)
※最少滴下流量	100 ℓ /min(ANR)	200 ℓ /min(ANR)	400 ℓ /min(ANR)
質量	0.5 kg		

※流量は入口圧力0.7 MPa、差圧は0.03 MPaの時の流量です。

※最少滴下流量は一次側圧力が0.5 MPaの時の流量です。

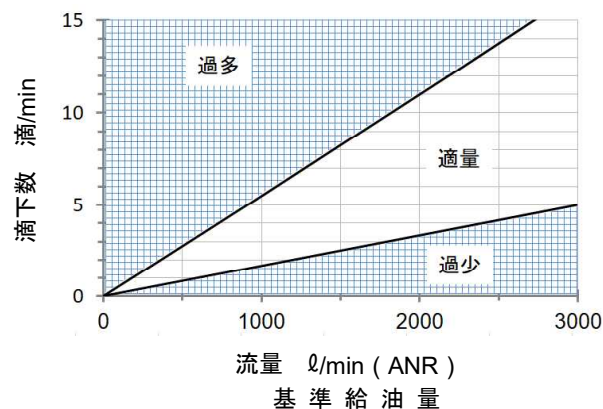
4. 取 付

- ・ 取付方向は、ボディ部にある矢印方向に空気が流れるように取付けてください。
- ・ 取付姿勢は、潤滑油が垂直に滴下するようにしてください。
- ・ 取付位置は、潤滑油を必要とする機器の近くにしてください。
- ・ 配管継手などは、配管する前にフラッシングをしてから使用してください。
- ・ 保守点検に便利なように、周囲に余裕空間を設けてください。

5. 給油調節と滴下量

空気圧回路や制御装置への給油量は、一般的に 10 m^3 に対して 1 cm^3 を基準としています。アクチュエータや方向制御弁などに給油する場合の滴下量は方向制御弁の排気から排出される空気に僅かに油が混ざっている程度の量に調整を行う必要があります。

給油調整は空気が流れている時に行い、ドーム $A s s' y$ を回転し滴下量を調整します。左に回せば滴下量は多くなり、右に回せば少なくなります。設定後の滴下量はほぼ空気流量に比例し、空気流量が増加すれば滴下量は多くなり、空気流量が減少すれば滴下量も減少します。



6. 潤滑油補給

潤滑油の補給は、空気圧ラインを止めずに給油が行えます。

フィードプラグを外すと、バルブ（チェックバルブ）が作動してケース内は大気圧と等しくなり、フィードプラグ口から給油ができます。銘板の MAX OIL の位置まで補給してください。

補給後は、フィードプラグを閉じると、空気圧は徐々にオイルケース内に入り、再び滴下を開始します。

* 潤滑油は、タービン油 1 種 ISO-VG 32 を使用してください。

スピンドル油やマシン油は下流側機器のパッキンを膨潤させ、故障原因となります。

7. 点 検

○保守点検

- ・潤滑油の滴下確認
- ・貯油量の確認

○分解点検



分解点検時の注意



- ・分解点検は、機器と配管内の圧力を抜いてから行ってください。
- ・再組立時は、クランプリングを《S》方向（右側）に止まるまで回してください。途中で止めたままにしておくとケースが外れて危険です。

○ケース分解

クランプリングを少し持ち上げたまま《O》方向（左側）に45°回すと分解できます。

○ケース組立

ケースガスケット（Oリング）がボディ側に装着されていることを確認し、クランプリングを少し持ち上げたまま《S》方向（右側）に止まるまで回してください。

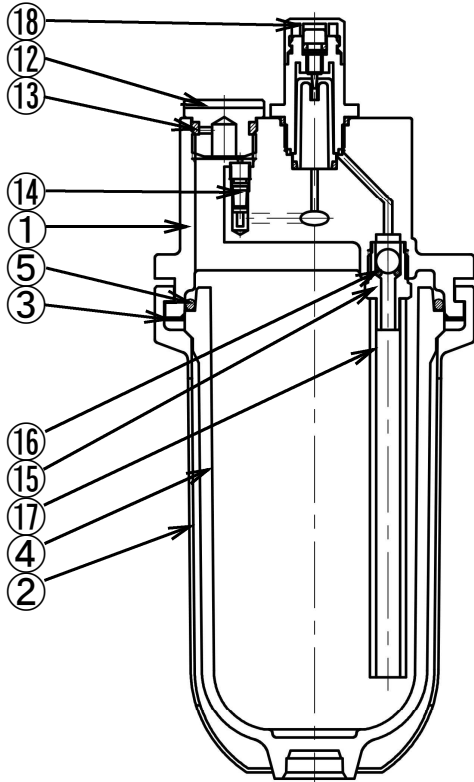
8. 部品洗浄

中性洗剤を使用し、清掃、洗浄してください。

9. トラブル対策



10. 部品名称



1	ボディ
2	クランプリング
3	クランプリングバネ
4	ケース
5	ケースガスケット
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	フィードプラグ
13	フィードプラグガスケット
14	バルブ
15	チェックバルブ
16	チェックバルブパッキン
17	サイフォンチューブ
18	ドーム A s s ' y